

ユーラシアンホットライン

VOL-7

昨年一年間、ユーラシアンクラブとともに、さまざまな催しを企画し、新潟県・小出郷でのホームステイでは、地元の人々の間に印象深い思い出を残したトラットさんからメールが届きました。キルギスタンへの夏のクラブ親睦旅行を心待ちにしています。

別掲の予定で旅行を実施したいと思います。お申し込みください。

キルギスからのメール

キルギスのトラットさんからメール到着

ユーラシアンクラブの皆さん、大野さん、お元気ですか？
日本も、そしてユーラシアンクラブも、元気ですか？
随分とご無沙汰して、ごめんなさい。私も元気でやっています。

現在私は、世界銀行によって資金投入されているプロジェクトの、国家プログラムマネージャー代理として、大蔵省で働いています。またこれと同時に、大学で国際経済の講義も受け持っており、最近は大蔵省における経済改革を推進するための国際的コンサルタント会社を選定する「評価委員会」にも加わっています。

ところでユーラシアンクラブの方々がこの夏、キルギスにいらっしゃる予定と伺っています。

そこでどなたが、いつ頃いらっしゃるのか、教えていただけませんか？
それから、どのような「訪キ」プランを立てていらっしゃるか、ということも。

私はこのご来訪予定がとてうれしく、心待ちにしています。
なぜなら、私も何らかの形で、このプログラムに参加したいと思っています。
のです。

できれば、できるだけ早く、ご返事をいただきたいと思っています。
では、また。 sayonara. トラットさんより。

ユーラシアンクラブのキルギス親睦旅行計画 (予定)

出発日 8月11日 (火)

帰国日 8月18日 (火)

費用/約25万円 (見込み)

★クラブ親睦旅行は、現地の会員お協力で実施するもので、旅行の性格は個人旅行とお考えください。参加者と実施方法等相談して実施します。

ご希望の方は、ファックス 044-965-2537 まで、住所、氏名、連絡先をお知らせください。

■ 2~3 ページでサハ特集 ■

①アブワさん 在日代表部主席から共和国外務大臣に栄転

②緊急特集 レナ川大洪水で非常事態宣言

③ヤクーチアのアーティスト、ハトゥラーエフ夫妻が新潟・小出郷文化会館のユーラシアコミュニケーションフェスティバルに参加決定

在日サハ代表部のヤコブレフ前主席

サハ共和国外務大臣に就任

日本通のヤコブレフさんが、母国サハ共和国の外務大臣に就任しました。サハは、人口の半分がヤクート、エベンキ、エベン、ユカギールなどの先住民が占め、豊かな鉱物資源がロシアの台所を支えている。日本への関心は以前から深く、日本人教授も常駐しているなど現地での日本語教育もロシアの中では活発だ。クラブの交流の催しでいつもいっしょのアンドレイ、ナターリャさんもこうした環境下で来日、勉強を続けている。ヤコブレフさんの活躍に大いに期待している。一方、就任間もないヤコブレフさんを大洪水被害が悩ませている。留学生のアンドレイ君やサハ代表部のバルムイギンさんから情報がもたらされた。6月14日に対応策を話し合う。次回会報でご報告する。また、サハのアーティスト、ハトゥラーエフ夫妻が7月25-26日、新潟県・小出郷文化会館で開催する「ユーラシアコミュニケーションフェス」への参加が決まった。ぜひ多くの方にご参加を呼びかけてください。

サハ情報1

■5月19日に開かれたサハ共和国国家議会において、これまで在日サハ共和国政府代表部主席を務めてこられたアナトリー＝ヤコブレフ氏が、同国外務大臣に選出されました。

■サハ共和国の今年度の国家予算が確定しました。

サハ情報2

■サハ共和国のレンスク市が水害に見舞われています。同国は、すでにロシア大統領および議会に対し、救援を要請しました。

○ 千葉大学留学生アンドレイ君の話：

「今年の冬、ヤクーツク市においてレナ河に雷が落ち、人々が不吉な前兆ではないかと危惧していたところ、春になって洪水が発生した。すでに、サハ共和国全土で13名が死亡、家屋浸水などで4万人が被災した模様。被害総額は10億ルーブルにのぼるとみられており、洪水は今後またおとずれると推測される。共和国政府はモスクワ・ノボロフスクなどに救援を要請している」

○ バルムイギンさんがインターネット情報で把握した記事を紹介します。

(以下インターネット掲載の新聞「ヤクーチア」より・翻訳/川井秀雄)

「大水害は大損害」

春の洪水によりヤクーチアにもたらされた損害は13億ルーブルを超えた

春は我らを悩ませる

—ヤクーチアの浸水地域は、18の地区(宿营地)と110の住民居住区に上り、サハ共和国における浸水状況は困難なものとなっている—

今週火曜日(5月26日)にロシア非常事態省がインターファックス通信に明らかにしたところによれば、水害による死者は13人で、その内訳はレンスクで10人、ウスチ・マイスク地区のベリカチ村で2人、ハンガラオスク地区のシンスク村で1人となっている。また、地元当局の情報によれば、78人が行方不明になっている。

ヤクーチア全体で水位の低下が指摘されているとはいえ、専門家の予測によれば、集中的な雪解けによる出水の第2波

が予想される。

1700棟が浸水し、3465人が避難をしたヤクーツク市の他、メギノ・カンガラスク、アルダンスク、ウスチ・マイスク、チュラルチンスク、そしてウスチ・アンダルスクの各地区でも、最も困難な状況が続いている。これらの地区では、667棟の住宅と46の公共施設が浸水し、89棟の家屋と22の橋が崩壊し、また道路約480kmと10の堤防が決壊し、送電線が損傷したほか、複数の住民居住区との通信が絶たれている。

水害の結果、ヤクーチア全体では10万人以上がライフラインの関連施設が故障したまま、住居と財産を失った。浸水した住民居住区から4万3千人以上が避難し、その内80%以上が最低限必要なものもなく、屋外での生活を余儀なくされており、多くの病人が出ている。

昨日一日(5月25日)で782人が避難し、様々な荷物5トンが提供された。

5月26日ヤクーチアでは水害地域からの住民の避難と人道援助物資の送付が続いている。

救助活動に、720人の救助員、157の専門機関、122の交通機関、そしてヘリコプターと飛行機5機が投入された。

中間報告では、春の洪水によりヤクーチアにもたらされた損害は13億ルーブルを越えた。これは5月26日にサハ共和国経済省のピョートル・バラシュコフ第1次官が、ヤクーツクで行われた社会労働関係の正常化に関する三者委員会の会議に出席して明らかにしたものである。それによれば、引き続き洪水は、ヤクーチアの北部及び北極地域にとって

さらに大きな災難をもたらすだろうということである。

サハ共和国のセルゲイ・ヤヌイギン大蔵大臣代理が明らかにしたところによれば、ワシーリー・ヴラーソフ首相は、ヤクーチアに対する10億ルーブル規模の財政的及び物質的支援に関する連邦政府決議案を携えてモスクワに出発した。

また、ヤクーチア政府は、共和国の壊滅的な状況に関連して、隣接するハバロフスク地方政府に支援を要請した。これ

は、ハバロフスク地方にあるヤクーチア政府常任代表部が、「インターファックス・ユーラシア」通信に明らかにしたものである。

ヤクーチア政府はハバロフスク政府に対して、被災地住民に生産技術用の製品、食料品、大衆消費物資、寝袋、暖かい医療による「応分の人道援助」を要請した。また、ボート、テント、鉄製ストーブ、医薬品などの送付を要請した。

サハ共和国 (ヤクーチア) 国家会議 (イル・トゥメン) 共和国議会決議

春の雪解け出水期の災害によるサハ共和国 (ヤクーチア) の非常事態に関して

サハ共和国非常事態委員会の S. N. ナザーロフ議長長の報告を聞き、審議し、サハ共和国国家会議 (イル・トゥメン) 共和国議会は以下のように指摘する。即ち、春の出水期初期段階の5月11日から20日までに、180棟の民家の崩壊を含め、43の住民居住区で2795棟が浸水し、150km以上の道路が決壊、23の堤防と18の橋が崩壊し、家畜217頭が死んでいる。そして、残念ながら犠牲者も出ており、11人が死亡した。全部で37,773人の人が避難を余儀なくされ、80%以上の人がテント暮らしをしている。

レナ川、アルダン川、アムガ川の住民居住区周辺における水位が、危険水位を2メートルから2.5メートル越えている。しかもこれはまだ春の出水の初期段階に過ぎないことを指摘する必要がある。

サハ共和国政府は被災者に対して、食料品、移動式の非常用発電機、燃料及び潤滑油、暖かい衣料、そしてテントを提供し、また通信手段を復旧させる措置を取っているが、財政難、物資不足、そして浸水被害が未曾有の規模であるために、それらの措置は十分なものではない。

この事態にあっては、緊急に公務員用の賃金、児童補助金用の予算、そして国の援助金を被災地に当てる必要がある。

以上のことに基づき、サハ共和国国家会議共和国議会は次のことを決議する。

- 1、サハ共和国内の、犠牲者と大きな損害を伴った洪水による浸水に関連する状況を非常事態と認める。
- 2、ロシア連邦のエリツィン大統領に対して、連邦の構成体であるサハ共和国領内での大規模な洪水、浸水に関連する非常事態宣言を出す要請をする。
- 3、ロシア連邦議会 (E. S. ストロエフ上院議長、G. N. セレズニョフ下院議長)、ロシア連邦政府 (S. V. キリエンコ首相) に対して、サハ共和国政府の訴えを支持し、大規模自然災害による被害の除去、ライフラインの諸施設の機能正常化に対する緊急の財政的、物質的技術的支援を要請する。
- 4、サハ共和国政府、自治体、そして企業幹部は、レナ川、アルダン川、アムガ川、ヴィリュイ川の中流・下流域、北部にあるヤナ川、コルイマ川、インジギルカ川、オレニョーク川の流域における引き続き春季洪水による大規模災害を予防する必要な措置を事前に講ずる。
- 5、この決議は、承認された日から発効する。本決議の実施に対する監督は、サハ共和国国家会議共和国議会議長が行う。共和国議会議長 V. フィリーポフ

ヤクーツク市 1988年5月20日

サハ情報③

■ハトゥラエヴァ クラウディア フィリッポブナ、ハトゥラエフ ゲルマン ワシレビッチ夫妻。

7月25-26日のユーラシアコミュニケーションフェスに参加する2人は国立フィルハーモニーの団員。①ヤクーツク87、89、90のコンクールで入賞②ポリャールナヤズベズダ(北極星)-90というコンクールで入賞③アギデル-92という全ロシアコンクールで入賞④A. オインスキー100年記念事業コンクール-93でグランプリ⑤94-1995年にかけてロンゴーレン市で開催された大ブリテン国際フォークロア音楽コンクールで2回連続優勝、という輝かしい経歴を持つ実力派。日本初来日だが、小出郷文化会館だけの公演で帰国する。夫妻は「現在、故郷の自然、我が民族の文化、忘却の時を経て次第に失われた最も古い形でのフォークロアの民族的核と人の深いかわりを再生しようと努力しています」とメッセージを寄せています。皆で聴きにいきましょう。

ユーラシア関連情報

■ 「日本トッパホームエイ協会」発足
トッパのホームエイグループ来日を機会に
モンゴルとロシアの国境にあるトッパ自治共和国の喉歌グループ「フーン・フル・トゥ」が来日する。民間の芸能プロダクションが招聘したのだが、来日を期に6月11日午後8時半から「日本トッパホームエイ協会」発足パーティが開催され、16日つくばカピオホールでコンサートが行われる。

発足パーティ:

日時/6/11(木)午後8時半受付開始

9~10時40分ごろまで。

場所/渋谷カンテンプル(ネパール料理店)

渋谷区桜丘16-6 サンライズ桜丘B1

電話/03-3770-5358

特別ゲスト・HUUN-HUUR-TU

(以上記事は、オフィス遊牧民「BILGUUN」

6月号から一部転載)

■ 34年間にわたって継続されているユーラシア研究者の研究懇談会である第35回野尻湖クリルタイ「日本アルタイ学会」が今年も開催されます。会場は長年使用してきた野尻湖ホテルが再開発で取り壊されますが、同じ野尻湖畔で開催されつづけられることになりました。ユーラシアンクラブ文

クラブからのご案内

◆恒例暑気払い/総会

7月11日(土)午後2時から

場所:池袋・東京芸術劇場大会議室

北海道直送のカニ付き3,000円

文化講座講師や留学生とユーラシアを語ろう

◆ユーラシアコミュニケーションフェス

7月25-26日

場所:新潟・小出郷文化会館

奥只見銀山平

留学生と一緒に、コンサート、温泉、交流の夕べ

東京から大型バス2台で出発

コンサート料金、往復運賃、夕食込みで13,000円

宿泊は、奥只見銀山平のキャンプ場、無料温泉付き

湯之谷村の全面支援で留学生との楽しい交流も。

人数に限りがあります。早めにお申し込みを!

化講座講師吉田世津子さん、林俊雄さんも参加します。

日時:1998年7月21日(火)~24日(金)

場所:富士屋旅館/電話0262-58-2514

JR信越本線黒姫駅バスで終点野尻湖/徒歩1分

プログラム

シンポジウム「野尻湖クリルタイの将来」

個別報告

澤井充生「寧夏・甘粛の回族イスラーム宗教組織」

東田範子「民族文化」と「伝統」の制度化・正当化:カザフの音楽を例に」

吉田世津子「クルグズスタンのソフホーズ」

リズワン・アプリミット「ウイグル文化の継承と民族教育」

真田安「ウイグル・イスラーム信仰の現状」

Schoerlein-Engel「Parameters of Cultural Diversity in Central Asia」

梅村担「中国西北のイスラーム資料について」

林俊雄「モンゴル高原遺跡調査」

参加者全員コンフェッション

クリルタイ事務局

〒113-0021 文京区本駒込2-28-21 東洋文庫清代史研究室

連絡先:TEL/FAX0298-53-4494

E-mail:kusunoki@histanth.tsukuba.ac.jp (楠木賢道)

- ◆ ニュースレター会報のボランティア記者募集
ユーラシアの幅広い情報収集と提供を促進するためボランティアを募集しています。興味のある方はお気軽にクラブまでご連絡ください。(担当井出)
- ◆ クラブ会報会員募集中
クラブでは正会員(年会費1万2千円)のほか、年会費2千円でニュースレター(10月号分)と会報(3号分)をお送りしています。お申し込みはクラブ事務局まで。
- ◆ 文化講座の後期の申し込みも受け付けています。申し込みはクラブ事務局まで。

<クラブに関するお問い合わせ先>

〒215-0013 神奈川県川崎市麻生区王禅寺2485-2-204

TEL044-965-2536 FAX044-965-2537

E-MAIL PAF02266@nifty.serve.or.jp

ユーラシアンクラブ神奈川事務局 大野まで